

<MRI（磁気共鳴画像診断法）>

今回はMRI についてご紹介します。

まず、MRI とはX線を使用せず、強い磁石と電磁波を使って体内の状態を断面像として描写する検査で、水分を多く含む臓器や血管など柔らかい組織の撮影に向いています。主な部位として血管・神経・脊椎・脊髄・筋肉・肩や膝などの一般的な関節等で腫瘍、靭帯損傷、椎間板ヘルニア、肉離れなどの診断に有用です。近年ではMRI の性能が向上しており、動いている心臓の撮影も可能で心臓ドックなどにも使用されることが増えています。

当クリニックでもMRI 撮影による検査、診察が可能となりました
そこで、患者様からよく聞かれますご質問にお答えさせていただきます

Q1 MRI とCT スキャンって？

MRI は前述させていただいたような特徴の機械です。CT スキャンとはX線を使用して行う撮影で、組織のX線透過の差を画像にするもので水分が少なく、X線を透過しにくい頭部、歯、肺、腹部などで頭部外傷、肺炎、結核、胸水、腹水などに適しています。

Q2 検査時間はどのくらいですか？

検査部位や内容によりますが20分から40分程度です

MRI についてもっと聞きたい、検査を受けてみたいとご希望の患者様は一度、受診をしていただきたく思います。